

航空電機計器整備員(1/2)

1 仕事の内容

ヘリコプターを含む現代の航空機には、発電機をはじめとする多くの電機機器や計器が搭載され、また、すみずみまで電気配線が張りめぐらされており電気の力なくして飛ぶことができないと言っても過言ではありません。

ちょうど人間の身体で例えると脳と神経の関係のように、パイロット(脳)の意志を電気信号(神経)で航空機のすみずみに伝えたり、また、航空機の状態をパイロットに伝えたりする重要な役割を果たしています。

航空電機計器整備員は、海上自衛隊が保有する航空機の電機機器や計器の整備に従事する隊員であり、主に航空機の電源系統・照明系統・警報系統・自動操縦系統に関する点検、検査、修理を担当します。

希望すればFE(機上整備員)として航空機の搭乗員となり活躍している隊員もいます。女性自衛官もたくさん航空電機計器整備員として活躍しています。

2 仕事に就くために

教育隊終了後、航空整備要員として約1年間航空基地等で勤務、その後、第3術科学学校の海士航空電機計器整備課程(約3か月)を経て、航空部隊勤務となります。

3 主な勤務地

航空発動機整備員と同じ。

4 取得可能な資格及び免許

国家資格:第2種電気工事士



航空電機計器整備員(2/2)

5 ライフスタイル(10年間の配置換え等)

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	
教育隊(練習員課程)	航空部隊 (航空整備要員)等	第3術科学校(海士航空電機計器整備課程)	航空部隊・ 護衛艦 (航空電機計器整備員) 等			教育隊(初任海曹課程)	航空部隊・ 護衛艦 (航空電機計器整備員) 等			

6 先輩からの一言



とてもやりがいがあり、先輩に教わりながら、楽しく仕事ができます。



(SH-60K対潜ヘリコプター整備実習)